

⚠ 防災コラム ⚠

これまでの防災コラム
はこちらから▶



☎総務課地域防災係 ☎(52)3744

8月26日は「火山防災の日」です。～登山や観光中も自分の命は自分で守りましょう～

みなさんに広く活火山対策への理解促進と防災意識の向上を図るため、8月26日を「火山防災の日」とすることが定められました。

火山災害の要因には様々なものがあり、大きな噴石や火砕流等は避難までの時間的猶予がほとんどなく、命に直結する危険な火山現象です。いざという時の避難のためには、蔵王山の火山防災マップ等で情報を収集し、どの範囲にどのような火山現象が想定されているのかということに加え、避難場所等の防災対策に必要な情報を確認しましょう。

また、蔵王山の近くにお住まいのみなさんだけでなく、登山者のみなさんも事前に確認しておきましょう。下記に活火山を登山する際の必要な備えをまとめましたので、参考にして、登山や観光中も自分の命は自分で守るように心掛けましょう。



▲山形県 HP「蔵王山の噴火警戒レベル」
※蔵王山の火山防災マップが確認できます。

気象庁 火山防災▶
の日特設サイト



気象庁 噴火警報▶
・噴火速報ページ



【1】火山情報を集める

①噴火警戒レベル…登山者、防災機関、住民がとるべき行動を5段階のキーワード(避難、避難準備、入山規制、火口周辺規制、活火山であることに留意)で設定したもの

②火山防災マップ…各火山で起こり得る噴火現象や、火山現象の範囲等について示したもの



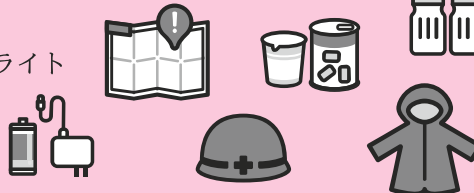
【2】登山届を提出する

登山届制度が導入されている火山については、必ず登山届(登山計画書)を作成し、提出しましょう。

【3】必要なものを装備する

火山の状態や特性を踏まえ、以下のような物の中から、必要なものを装備してください。

- ☐ 火山防災マップ・火山ハザードマップ ☐ ヘルメット
- ☐ ゴーグル ☐ タオル ☐ 雨具(レインウェア) ☐ ヘッドライト
- ☐ 携帯電話等の通信機器・予備電池 ☐ 非常食・飲料水
- ☐ 登山地図・コンパス ☐ 粉塵マスク等



【4】登山中も常に注意をする

噴気孔や噴気地帯の窪地等の危険な場所には、絶対に立ち入らないでください。

登山中も気象庁のHP等からの情報収集を怠らないようにしましょう。



内閣府 火山への登山のそなえ▶